

日本糖質学会ポスター賞 受賞者

回 (年会)	受賞者と受賞テーマ
<p>第 23 回 (第 40 回日本糖質学会) 2021 年</p>	<p>化学系</p> <p>芝田大之 (大阪大学大学院理学研究科)</p> <p>新規ワンプット法による糖タンパク質の化学合成と糖鎖の特異的水和の機能解明研究</p> <p>濱島将伍 (岐阜大学大学院連合農学研究科)</p> <p>完全な立体選択性を示す Kdo <math>\alpha</math>-グリコシル化法の開発研究</p> <p>三浦彩音 (大阪大学大学院理学研究科)</p> <p>生細胞表層への合成糖鎖の導入及び糖鎖-レクチン相互作用の分子化学的解析</p> <p>生物系</p> <p>宋万里 (東北医科薬科大学分子生体膜研究所)</p> <p>SLC35AC の O-GlcNAc 修飾は N-型糖鎖の <math>\beta</math>1,4-GlcNAc 分岐を制御する</p> <p>富田晟太 (岐阜大学大学院自然科学技術研究科)</p> <p>フコース転移酵素 FUT8 の機能制御における OST の役割</p> <p>武渕明裕夢 (東京農工大学大学院農学府)</p> <p>発生期の脳皮質で形成されるヒアルロン酸を含む細胞外マトリックスの解析</p> <p>村井良 (名古屋大学大学院生命農学研究科)</p> <p>脊椎動物種間におけるポリシアル酸転移酵素 ST8Sia2 のキメラ化による酵素活性の比較</p>

<p>第 22 回 (第 38 回日本糖質学会) 2019 年</p>	<p>化学系</p> <p>高橋 舞菜 (岐阜大学自然科学技術研究科)</p> <p>ラクト系スフィンゴ糖脂質の 1 分子観察用プローブの合成</p> <p>松浦 良史 (大阪大学大学院 理学研究科)</p> <p>相乗的に受容体機能制御を行う TLR4/MD-2 リガンドの構造活性相関研究</p> <p>生物系</p> <p>王 宜成 (大阪大学微生物病研究所 寄附研究部門 藪本難病解明寄附研究部門)</p> <p>Lactosylceramide-organized galactose modification of glycosylphosphatidylinositol by beta-1,3-galactosyltransferase 4</p> <p>布施谷 清香 (筑波大学大学院)</p> <p>糸球体上皮細胞の Core 1 型 O-結合型糖鎖は、血液濾過に重要である</p>
<p>第 21 回 (第 37 回日本糖質学会) 2018 年</p>	<p>化学系</p> <p>浅野 早知 (岐阜大学大学院)</p> <p>グロボ系列スフィンゴ糖脂質プローブの合成と細胞膜ナノドメインの分子基盤解明研究</p> <p>朝比奈 雄也 (大阪大学 蛋白質研究所)</p> <p>4-メチルベンジル保護とワンポットペプチドライゲーションを利用した糖付きヒストンH2Aの化学合成</p> <p>藤川 紘樹 (公益財団法人 サントリー生命科学財団 生物有機科学研究所)</p> <p>大腸菌膜タンパク質膜挿入に関与する糖脂質MPlase部分構造の合成と活性</p> <p>生物系</p> <p>狩野 裕考 (東北医科薬科大学 分子生体膜研究所 機能病態分子学教室)</p> <p>極長鎖GM3ガングリオンドを介したTLR4活性化がメタボリックシンドロームを発症させる</p> <p>本田 怜奈 (総合研究大学院大学)</p> <p>エリスロポエチンの糖鎖修飾をモデルとした糖転移酵素の細胞内局在の探査</p> <p>森 愛理 (名古屋大学 生命農学研究科)</p> <p>ポリシアル酸転移酵素 ST8SIA2とST8SIA4が合成するポリシアル酸</p>

	の構造と性質
<p>第 20 回 (第 36 回日本糖質学会) 2017 年</p>	<p>化学系 小松 良亮 (慶應義塾大学大学院理工学研究科) メラノソーム関連タンパク質 PMEL における C-mannosylation の解析 城代 航 (慶應義塾大学大学院理工学研究科) 糖鎖プライマー法を用いたがん細胞のラクト/ネオラクト型糖鎖のプロファイリングと比較解析 生物系 上田 優衣 (大阪大学大学院医学系研究科) レクチンを用いた新規 NASH 糖鎖治療法開発への基礎的検討 紅林 佑希 (静岡県立大学薬学部) シアリダーゼ蛍光プローブを用いた薬剤耐性インフルエンザウイルスの検出・分離法の開発</p>
<p>第 19 回 (第 35 回日本糖質学会) 2016 年</p>	<p>化学系 石井 希実(群馬大学大学院理工学府) 5 糖蛍光プローブを用いたエンド-β-N-アセチルグルコサミニダーゼの活性検出 三宅 秀斗(大阪大学大学院理学研究科) HaloTag テクノロジーによる生細胞への糖鎖提示とそれを用いた機能解析 生物系 平田 哲也(大阪大学微生物病研究所) 立体構造モデルに基づいた GPI-GalNAc 転移酵素 PGAP4 による GPI 側鎖合成機構 渡辺 昂(九州大学大学院農学研究院) 病原性真菌は免疫賦活化糖脂質を分解することでMincleを介した自然免疫系から 逃避する</p>
<p>第 18 回 (第 34 回日本糖質学会年会) 2015 年</p>	<p>化学系 中川 翔 (大阪大学 大学院理学研究科) NKT細胞の活性化機構解明を目指したホスファチジルイノシトールの合成とその生理活性 木内 達人 (大阪大学 大学院理学研究科) ハイマンノース型糖鎖を有するエリスロポエチンの系統的合成とそれを用いたフォールディングセンサー酵素UGGTの基質認識能の評価 生物系 山口 亜利沙 (高知大学 先端医療学推進センター)</p>

	<p>EMARS法は各GPI-アンカータンパク質分子種が固有の脂質ラフトドメインを形成することを明らかにした  新美 百希 (名古屋大学 大学院生命農学研究科)  ポリシアル酸転移酵素STXとPSTにより生合成されるポリシアル酸の構造及び分子保持機能の解析</p>
<p>第 17 回  (第 33 回日本糖質学会年会)  2014 年</p>	<p>化学系  柿田 浩輔 (北海道大学 大学院薬学研究院)  抗ヘルペスウイルス活性をもつシアル酸含有糖ペプチド及び類縁体の合成  真木 勇太 (大阪大学 大学院理学研究科)  天然から単離した二分枝複合型糖鎖を利用するヒト型三分枝糖鎖の合成研究  生物系  原田 陽一郎 (理化学研究所GRC 糖鎖代謝学研究チーム)  グルコース飢餓によって誘導されるドリコールオリゴ糖の未成熟分解の発見とその分子機構の解明に向けて  松岡 修平 (名古屋大学 大学院生命農学研究科)  ポリシアル酸はNCAM細胞外ドメインの切断を制御する機能を持つ</p>
<p>第 16 回  (第 32 回日本糖質学会年会)  2013 年</p>	<p>化学系  竹内 裕紀 (京都大学 化学研究所) グルコースの位置選択的修飾による配糖体合成  宮川 淳 (名古屋工業大学大学院 物質工学専攻) 分岐オリゴグルカンライブラリー構築による多糖加水分解酵素の切断特異性の解明  新地 浩之 (鹿児島大学大学院理工学研究科) ガングリオシド糖鎖固定化蛍光性ナノ粒子を用いたギラン・バレー症候群簡易診断法  生物系  芳賀 淑美 (理化学研究所糖鎖代謝学研究チーム) 標的タンパク質の糖鎖修飾蛍光イメージングと細胞内動態解析  澄田 智美 (日本学術振興会特別研究員PD、理化学研究所 SSBC、理化学研究所横山構造生物学研究室、九州大農学研究科生命機能) 糖脂質に作用する新規<math>\beta</math>-N-アセチルガラクトサミニダーゼの発見及び触媒機構の解析</p>
<p>第 15 回  (第 31 回日本糖質学会年会)  2012 年</p>	<p>化学系  山口 拓実 (自然科学研究機構・統合バイオ、総研大・物理、名古屋市大・院薬) 常磁性NMR法による糖鎖の動的立体構造解析  鈴木 達哉 (岐阜大・応用生物、京都大・iCeMS) セレン標識糖鎖の合成と糖鎖-蛋白質複合体の立体構造解析への応用  生物系</p>

	<p>矢木 宏和 (名古屋市大・院薬) 神経幹細胞の幹細胞性維持におけるN型糖鎖の機能解明</p> <p>堺谷 祐太 (名古屋大・院医) 新規 O-GlcNAc 転移酵素の基質認識と生物学的役割</p> <p>木塚 康彦 (理研、基幹研) エピジェネティクスによる脳特異的な糖転移酵素の発現制御メカニズム</p>
<p>第 14 回 (第 30 回日本糖質学会年会)</p>	<p>化学系</p> <p>塩入 優紀 (東京工業大学大学院・生命理工学研究科) 糖鎖構造解析を応用した質量分析法による不斉中心の立体化学決定</p> <p>河村 奈緒子 (岐阜大学・応用生物科学) 蛍光GM3、GM1プローブの合成と 1 分子追跡実験によるラフト分配特性の解析</p> <p>生物系</p> <p>松本 康之 (名古屋大学大学院・医学系研究科) pp-GalNAc-T13 はtrimeric Tn抗原を形成し癌転移を亢進させる</p> <p>中村 真男 (茨城大学大学院・理工学研究科) 硫酸化グリコサミノグリカンが規定する生理的濃度の内分泌因子によるシグナル伝達</p>
<p>第 13 回 (第 29 回日本糖質学会年会)</p>	<p>化学系</p> <p>井上 菜穂子 (浜松医大・分子解剖) イメージングマスマスペクトロメトリーによる糖脂質の局在解析</p> <p>中島 慎也 (岐阜大学大学院院連合農学研究科) ラクト及びガングリオ系二系列を同一分子中に有するハイブリッド型ガングリオシドの全合成</p> <p>櫻井 絢花 (理研・基幹研究所、埼玉大学大学院理工) 凍結条件下におけるグリコシル化反応の濃度の効果について</p> <p>生物系</p> <p>樺山 一哉 (東海大学糖鎖研究所) 細胞膜分子の側方拡散を制御する糖脂質マイクロドメイン</p> <p>大海 雄介 (名古屋大学大学院医学研究科) GM3 only マウスの神経変性における補体の役割</p>
<p>第 12 回 (第 28 回日本糖質学会年会)</p>	<p>化学系</p> <p>岡本 亮 (横浜市大大学院国際総合科学) 新規糖ペプチド鎖連結法の開発</p> <p>松村 史子 (東京大学大学院新領域) リン原子修飾型糖 1-リン酸類縁体の合成法</p> <p>生物系</p> <p>岡田 拓也 (筑波大学大学院人間総合科学) ヘパラン硫酸 6-O-エンドスルファダーゼは正常な神経回路形成に必要である</p> <p>内藤 裕子 (京都大学大学院生命、JST・CREST) 活性化 T 細胞に</p>

	<p>おける N-グリコリルノイラミン酸の発現抑制とその機能的な意義の探索</p>
<p>第 11 回 (第 27 回日本糖質学会年会)</p>	<p>化学系</p> <p>田中 克典 (大阪大学大学院理学研究科) アザ電子環状反応を用いた超高速標識化法の開発: 糖タンパク質の PET イメージング</p> <p>尾形 槇 (岐阜大学大学院院連合農学研究科) インフルエンザウィルス感染阻害剤としてのシアロ人工糖鎖ポリペプチドの分子設計</p> <p>生物系</p> <p>橋井 則貴 (国立医薬品食品衛生研究所) LC/MS<sup>n</sup>による目的部分糖鎖構造を持つ糖タンパク質の特異的同一</p> <p>小谷 典弘 (高知大学医学部) 細胞膜上分子間相互作用生化学的可視化法の開発</p>
<p>第 10 回 (第 26 回日本糖質学会年会)</p>	<p>化学系</p> <p>長堀 紀子 (北海道大学大学院先端生命科学学院) 糖鎖金ナノ微粒子を基質として用いた糖転移反応の (MA) LDI-TOF MS による迅速モニタリング</p> <p>田中 伸一 (大阪大学大学院理学研究科) マイクロフローシステムを活用した効率的な <math>\alpha</math>-シアリル化法の開発</p> <p>生物系</p> <p>梶谷内 晶 (産業技術総合研究所糖鎖工学研究センター) <math>\beta</math>1,3-N-アセチルグルコサミン転移酵素 2 遺伝子ノックアウトマウスの解析</p> <p>林 康広 (九州大学大学院生物資源環境科学研究府) Klotho related protein はグルコセレブロシダーゼ活性を有する</p>
<p>第 9 回 (第 25 回日本糖質学会年会)</p>	<p>化学系</p> <p>中の 三弥子 (大阪大学大学院医学研究科) 蛍光ラベル化法を用いた糖タンパク質糖鎖の on-line ESI MS 分析</p> <p>飯島 一智 (慶應義塾大学大学院理工学研究科) 脂質ラフト中におけるガングリオシドの分布の AFM 観察</p> <p>生物系</p> <p>豊田 亜希子 (千葉大学医学院薬学研究科) ショウジョウバエ GAL4-UAS システムを用いた新規糖鎖遺伝子 <i>Glycomaster-1</i> の発見</p> <p>奥田 徹哉 (名古屋大学大学院医学研究科) ペロ毒素による病態は、生体内の Gb3 発現に完全に依存する</p>
<p>第 8 回 (日米合同糖質科学会議・ハワイ)</p>	<p>石水 毅 (大阪大学大学院理学研究科) Endo-<math>\beta</math>-Mannosidase, A Plant Enzyme Acting on N-Glycan: Purification, Substrate Specificity, and Molecular Cloning</p> <p>神谷 由紀子 (名古屋市立大学大学院薬学研究科) Structural basis of sugar recognition by the cargo receptor VIP36</p>

	<p>松村 憲吾 (月桂冠 (株) 総合研究所) Carbohydrate-binding specificity of a fucose-specific lectin from <i>Aspegillus oryzae</i></p> <p>高橋 忠伸 (静岡県立大学薬学部) Molecular mechanism and evolutionary analysis of human influenza A virus N2 neuraminidase genes based on the transition of the low-pH stability of sialidase activity</p>
<p>第7回 (第24回日本糖質学会年会)</p>	<p>化学系</p> <p>大塚 功 (三菱化学生命科学研究所) 固相合成法による糖鎖ライブラリーの創製に関する基礎研究</p> <p>戸谷 希一郎 (理化学研究所) 糖メトトレキセート複合分子プローブの合成と人工タンパク質創製への応用</p> <p>生物系</p> <p>Byung-Taek Kim (神戸薬科大学) Core Protein Sequence in Addition to the EXTI-EXT2 Interaction is an Absolute Requirement for <i>In Vitro</i> Heparan Chain Polymerization</p> <p>湯山 耕平 (東京都臨床医学総合研究所) 三量体 G タンパク質 Go の神経細胞膜ラフトにおけるシグナル伝達とガングリオシド</p>
<p>第6回 (第23回日本糖質学会年会)</p>	<p>化学系</p> <p>土肥 博史 (名古屋大学大学院工学研究科) 志賀毒素を無害化する糖鎖フラレンの分子設計</p> <p>能登 香 (お茶の水女子大学大学院人間文化研究科) 計算化学的手法によるガングリオシド糖鎖の高次構造の解析</p> <p>生物系</p> <p>大谷 克城 (旭川医科大学医学部) 血管内皮に発現するスカベンジャー受容体様コレクチン CL-P1 のクローニングと機能の解析」</p> <p>末吉 紀行 (九州大学大学院物質資源環境科学研究府) ゼブラフィッシュ胚発生におけるスフィンゴ糖脂質合成酵素の機能解析</p>
<p>第5回 (第22回日本糖質学会年会)</p>	<p>生物系</p> <p>千葉 靖典 (産総研・分子細胞工学) 出芽酵母によるファブリー病治療薬の開発</p> <p>周尾 卓也 (愛知県コロニー・研・周生期) 脳特異的プロテオグリカン、ニューロカン、ホスファカン、NGC の糖鎖構造の比較</p> <p>化学系</p> <p>三浦 剛 (野口研) 新規パーフルオロ型保護基の開発と糖鎖合成への応用</p> <p>深瀬 嘉之 (大阪大学大学院理学研究科) ライブラリー構築を目指したアフィニティー分離法による複合糖質リポド A の効率的な合成</p>
<p>第4回 (第21回日本糖質学会年会)</p>	<p>米田 敦子 (工技院・生命研) ムチン型糖鎖クラスターで修飾された FGF-1 の創製</p>

	中村 正 (帯広畜産大・生資科) 二次元 NMR による 3'-シアリルラクトースラクトンの立体構造解析
第 3 回 (XVth International Symposium on Glycoconjugates)	佐藤 ちひろ (名古屋大学) Frequent occurrence and regulated expression of oligosialic acid residues in mammalian glycoproteins 松岡 浩司 (埼玉大学) Synthesis of Carbosilane Dendrimers Uniformity Functionalized with the Carbohydrate Moieties of Globotriaosyl Ceramide As a Potential Drug for Neutralization of Microbial Toxin
第 2 回 (第 20 回糖質シンポジウム)	及川 雅人 (大阪大学大学院理学研究科) $^{13}\text{C}$ 標識化リポド A 類緑体の合成と NMR 解析 沖野 望 (九州大学大学院生物資源環境科学研究科) エンドグリコセラミダーゼ (EGCase) 遺伝子のホモロジークローニング
第 1 回 (第 19 回糖質シンポジウム)	山田 修平 (神戸薬大・生化) ヘパリンの低硫酸化領域から単離した硫酸化五糖、六糖は特徴的な共通三糖配列-IdoA-GlcNAc-GlcA-を含む 松尾 一郎 (明治乳業ヘルスサイエンス研究所) 酵素法と化学法を組み合わせた複合型糖鎖の合成